



2024 (令和 6) 年 2 月 26 日

山形県政記者クラブ報道機関 各位

日本イヌワシ研究会 (SRGE)
会長 須藤明子

JR 東日本エネルギー開発株式会社による「(仮称) 栗子山風力発電事業計画」は絶滅危惧種イヌワシの生息を脅かす恐れがあるため、事業の中止を求める要望書を山形県知事に提出します。

<提出日時と提出先>

2月29日(木) 10時 山形県庁7階 環境エネルギー部みどり自然課
山形県 : みどり自然課長
日本イヌワシ研究会 : 会長(須藤明子)・副会長(高橋 誠)

<要望書の概要>

- 1) 準備書(2023年10月縦覧終了)におけるイヌワシ調査の不備について。
 - ・計画地周辺には複数ペアが生息しているが1ペアしか調査できていない。
 - ・繁殖状況を確認していない。
 - ・計画地の尾根(草原性の自然植生)でありイヌワシの重要な狩場である。
 - ・巣と風車の距離は10kmと記載されているが、実際は3km以内である。
 - ・衝突死のリスク評価が不適切(過小評価)。
 - 2) 当該計画が再生可能エネルギー推進と生態系・生物多様性保全のバランスを欠いた計画であることについて。
 - 3) 山形県知事への要望
 - ・不適切な準備書の差し戻しと事業者に対するアセス手続きの中止勧告
 - ・事業者に対する立地選定のやり直し勧告
 - ・県民の財産である生物多様性を脅かす当該計画について山形県知事の見解
- @要望書全文を日本イヌワシ研究会公式サイト(<http://srge.info>)で公開します。

<連絡先>

日本イヌワシ研究会 会長 須藤明子(滋賀県)

携帯 : @@@

Email : @@@

日本イヌワシ研究会 事務局長 沖 浩志(千葉県)

携帯 : @@@

Email : @@@